

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年6月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年6月7日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 108社
- 回収率 54.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の6月の状況を見ると業況DIは、前月より4.4ポイント回復の▲3.7となった。

2014年4月以来39ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、卸売業、サービス業の3業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲4.6と当月に比べ0.9ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、卸売業で回復が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2017年7月～9月
業況	▲17.4	▲10.6	▲17.0	▲12.8	▲8.1	▲3.7	▲4.6
売上	▲14.3	▲13.5	▲9.0	▲0.9	1.8	5.6	1.8
採算	▲8.2	▲10.6	▲19.0	▲7.3	▲6.3	▲8.3	▲8.3
仕入単価	▲29.6	▲26.9	▲32.0	▲32.1	▲33.3	▲31.5	▲32.4
従業員	30.6	24.1	24.0	23.0	27.9	25.9	30.5
資金繰り	▲7.2	▲7.7	▲10.0	▲10.1	3.6	▲3.7	▲8.3

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2017年7月～9月
建設	▲9.1	▲4.0	▲8.7	0.0	7.4	11.6	7.7
製造	0.0	4.1	7.7	7.7	8.0	▲4.2	0.0
卸売	▲15.0	▲33.3	▲35.0	▲29.2	▲25.0	0.0	▲8.7
小売	▲50.0	▲17.6	▲35.7	▲11.8	▲18.7	▲29.4	▲23.5
サービス	▲25.0	▲5.9	▲29.4	▲35.0	▲21.0	▲5.6	▲5.6

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に仕事のおもしろさを知ることや、一人ひとりの労働資本の価値を高めることをどのように教えるか悩んでいる。(設備その他) ・多少、職人不足気味です(建築) ・技術員の不足(総合工事) ・技術者、労働者不足が続いており、外国人研修生受け入れでの補完を検討中(総合工事) ・課題は従業員(技術系)職員不足(設備その他)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上減少傾向にある中で、今後材料費等の値上げが見込まれ、採算性の悪化が懸念される。個人消費を含め民間企業の景況感は弱含みであり、なかなか抜本的な業績回復策は見出せない(印刷出版) ・購入資材の値上げが止まらない。7月にも資材の値上げが決まっている。(金属窯業) ・人手不足を予想。省力化を検討中(金属鉄工窯業) ・この4月から新卒給与の増額を実施。採用活動に注力し、また若手キャリア採用を増やすなど社内の年齢構成のバランスを図る必要が出てきている。(家具木材) ・得意先の要望により、新商品製造のため設備投資を実施。新規販路の開拓を目指す(食料品) ・昨年は3～6月、工場の増設等で思うように仕事が進まなかったが、今年は良いスタートがきれた。今後に期待できそう(金属窯業)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の業況は昨年度と同等と思われる。(機械鋼材) ・原油価格は、当面大きな変動はないと予想されます。従って、販売価格も石油製品全般において現在の水準で推移するものと思われます。(その他) ・人員補充が滞り販売が思うようにいかない(その他) ・売上・利益とも前年比で推移。人手不足のため今後の売上維持が難しい。早急に手を打ち売上維持につなげたい(機械鋼材) ・年々営業利益が減少していることから、販管費の削減に取り組んでいる。(機械鋼材)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足によって販売活動が限定的になる。営業時間の短縮を検討(その他) ・サマーセールスの期間が早くなっており、盛夏アイテム(半袖物等)の販売時期でもセール待ちをして買い控えるなど、売上が見込めない。6月は売上が大変厳しい(衣料品) ・売り上げ減少。従業員の不足が改善されない(その他) ・平均的な客層の方々の個人消費の悪化(その他) ・新たに機械導入予定(食料品) ・人員不足が続いている。(食料品) ・人員不足(その他)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・6月はスポーツ大会、学会などのイベントにより宿泊需要が好調に動く。7月以降はようやく外国人旅行客が動き出すが不透明な状態(ホテル旅館) ・今年度、同業他社との差別化を目的に導入した測定機器が順調に売上に繋がっている。(その他) ・旭川中心は苦戦しているが他地域が好調につき全体売上は増加予想(理美容クリーニング) ・食品の値上げが止まらず採算が取れなくなってきている。さらに酒類も値上がりしたため、今後更に厳しくなりそう(飲食)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI3.4 ポイント悪化、採算 DI15.1 ポイント悪化、仕入単価 DI2.2 ポイント回復、資金 DI18.2 ポイント悪化、従業員 DI1.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 4.2 ポイント回復となった。業種別では、設備その他 11 ポイント、建築業 20 ポイント悪化、総合工事 26 ポイント回復となった。職人・技術者等の職員が不足との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI0.5 ポイント回復、採算 DI16.2 ポイント悪化、仕入単価 DI2.5 ポイント回復、資金 DI8.0 ポイント悪化、従業員 DI4.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 12.2 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 20 ポイント、印刷出版 10 ポイント、家具木材 25 ポイント、金属窯業他 12 ポイント悪化となった。売上減少傾向にある中、今後材料費等の値上げが見込まれ、採算性悪化が懸念。個人消費を含め民間企業景況感は弱含みでなかなか抜本的な業績回復策は見出せないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI17.3 ポイント回復、採算 DI12.3 ポイント回復、仕入単価 DI15.9 ポイント回復、資金 DI8.5 ポイント悪化、従業員 DI7.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 25.0 ポイント回復となった。業種別では、食料品 11 ポイント悪化、繊維・衣服等 150 ポイント、機械鋼材 60 ポイント、その他 11 ポイント回復となった。年々営業利益が減少していることから、販管費の削減に取り組んでいるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI19.1 ポイント回復、採算 DI7.4 ポイント回復、仕入単価 DI11.0 ポイント悪化、資金 DI4.7 ポイント悪化、従業員 DI4.0 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 10.7 ポイント悪化となった。業種別では、自動車 20 ポイント回復、衣料品横ばい、食料品 50 ポイント、その他 17 ポイント悪化となった。人手不足によって販売活動が限定的になる。営業時間の短縮を検討との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI10.8 ポイント悪化、採算 DI9.9 ポイント回復、仕入単価 DI7.3 ポイント悪化、資金 DI10.3 ポイント回復、従業員 DI14.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 15.4 ポイント回復となった。業種別では理美容クリーニング、その他、運送横ばい、ホテル 25 ポイント、飲食 33 ポイント、整備業 25 ポイント回復となった。6 月はスポーツ大会、学会等イベントにより宿泊需要が好調。7 月以降はようやく外国人旅行客が動き出すが不透明な状態との声も寄せられている。</p>